

- 準備 ① 試料 1%でんぶん液, だ液溶液  
 ② 試薬 ヨウ素液, フェーリング液 I, フェーリング液 II  
 ③ 器具 ビーカー, 試験管, 温度計, 湯せんなべ, 駒込ピペット, マジックペン

④ TPの内容

T	P	活用のしかた・留意点
<b>TP6 でんぶんの消化の実験手順</b> 		<p>○ TP6により実験の手順をよく理解させる。</p> <p>○ TP6の方法で実験を進め, (ア), (イ)がそれぞれ2等分されたら, OHP実験投影装置・(小学校家庭図1に示す)の試料台の上で, (ア), (イ)についてヨウ素反応およびフェーリング反応を試み, その変化を観察させる。</p> <p>(なお, フェーリング反応は加熱後の変化を投影する。)</p> <p>投影の際, 試験管のレンズ効果を除くためセルの中に水を入れる。</p>

結果

	ヨウ素でんぶん反応	フェーリング反応
(ア)	(ア)-1	(ア)-2
(イ)	(イ)-1	(イ)-2

- 結果については左表に記録し, なぜそのような反応がおこるのか考察させる。

⑤ 食品に含まれるアミラーゼのはたらき

- 準備 ① 試料 だ液, とろろいも, 大根, キャベツ, でんぶん, 粉末かんてん  
 ② 試薬 ヨウ素液  
 ③ 器具 東洋ろ紙 No.50, シャーレ, 定温器

方法 ① 試料準備……食品はおろし金でおろし, そのしぼり汁をガーゼでこす。

T	P	活用のしかた・留意点
<b>TP7 プレートの作り方</b> 		<p>TP7により, プレートの作り方の手順をよく理解させる。</p> <p>1つの操作ごとに, 全体部分提示法により(ア), (イ)というようにずらして示し, 鮮明に印象づける用い方をしてもよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷却固化をさせる場合, 蓋をして菌などが入らないように注意する。</li> </ul>